

平成30年度 会計管理者「政策宣言」中間報告

会計管理者 稲垣一成

○ 平成30年度重要事業

事業名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目標	正確な収支見通しの把握に努めるとともに、安全性の確保を最優先とし、より効率的な公金の管理・運用を図ります。
進捗状況	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めています。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用のほか、基金の一部を活用し債券運用を行い、利子収入の確保に努めています。
今後の対応	引き続き、安全でかつ有利な公金管理と資金運用に努めます。

事業名	公金取扱状況検査の実施
目標	各課・出先機関等への公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
進捗状況	今年度予定の14か所（金融機関2か所を含む。）のうち、8か所で現地調査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
今後の対応	残る6か所については、2月末までに実施します。

事業名	適正な会計事務の執行
目標	法令等に基づき、厳正かつ迅速な伝票審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。
進捗状況	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を実施しました。
今後の対応	引き続き、適正かつ確実な支払事務の執行に努めます。